

クリニカルパス通信

クリニカルパスとは？



クリニカルパス

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されます。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様できる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

新パス紹介

11月、12月、1月のパス委員会にて新しく8個のパスが承認されました！

1. 腹部緊急手術（腸切除あり）（外科・呼吸器外科）

2. 腹部緊急手術（腸切除なし）（外科・呼吸器外科）

急性腹症で緊急手術を行った患者に適用します。腸切除を行った場合と、行わなかった場合の2種類を作成しました。

3. 流産手術（婦人科）

4. 食物経口負荷試験1泊2日2歳以上 7歳未満（小児科）

5. 食物経口負荷試験1泊2日 7歳以上（小児科）

小児の食物アレルギー検査を1泊2日で行うパスです。

6. 予定大腸ポリープ切除1泊2日（外科・呼吸器外科）

7. 縦隔気腫 炎症なし（外科・呼吸器外科）

8. 縦隔気腫 炎症あり（外科・呼吸器外科）

特発性縦隔気腫のパスで炎症の有無で分けています。



2017年4月～12月累計パス適用数ランキング

第1位：フォローアップ心カテ手首用（循環器内科）	77
第2位：軽症外傷（外科・呼吸器外科）	73
第3位：白内障手術2泊3日（眼科）	44
第4位：大腸ポリープ切除パス（外科・呼吸器外科）	43
第5位：腸閉塞（外科・呼吸器外科）	39





現在運用中のパスは120個

外科・呼吸器外科	76
形成外科	15
眼科	5
婦人科	5
内科	2
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	2
小児科	5
循環器内科	1
看護科	5

平成29年度第2回ミニパス大会のお知らせ

下記のとおり「ミニパス大会」を開催いたしますので、皆様のご参加をお願いいたします。

日 時：平成30年1月31日（火） 17：30～18：00

場 所：2階 大会議室

1. 「心カテパスについて」

循環器内科 小住清志

「パス導入について」

西6階病棟 勝元美佳

2. 「第18回日本クリニカルパス学会参加報告」

西3階病棟 立石美枝子

【2017年10～12月パス適用率】

全体年間パス適用率：17.8%

